



# AUE News

2011年3月1日

第 11 号



編集・発行

愛知教育大学広報部会

TEL 0566-26-2738

FAX 0566-26-2500



## 目次

- 行事予定(3月1-15日)
- トピックス
  - ・書道専攻・書友会卒展
  - ・卒展
  - ・情報セキュリティセミナー
  - ・小中英語支援室講演会
- ・鷹巣准教授がテレビ出演
- ・樋口教授が個展開催
- ・前期日程試験行われる
- お知らせ・報告・投稿
  - ・リポトリ前田教授インタビュー
  - ・定期演奏会など開催案内

## 行事予定(3月1-15日)

- 1日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)  
評価委員会 (役員部局長会議終了後 学長室)
- 2日(水) 学生支援委員会 (13:30～ 第五会議室)  
6年一貫教員養成コース会議 (16:40～ 第五会議室)
- 3日(木) 大学改革推進委員会 (16:40～ 第五会議室)
- 4日(金) 教員人事委員会 (13:30～ 第一会議室)  
附属図書館委員会 (15:00～ 附属図書館会議室)  
代議員会 (16:00～ 第五会議室)  
教務企画委員会 (16:40～ 第二会議室)
- 8日(火) 役員会 (13:00～ 学長室)
- 9日(水) 代議員会 (13:30～ 第五会議室)  
教育研究評議会 (代議員会終了後 第五会議室)
- 11日(金) 財務委員会 (15:00～ 第一人文棟会議室)
- 14日(月) 経営協議会 (15:00～ 第三会議室)  
経営協議会と顧問会議の合同会議 (16:00～ 第三会議室)
- 15日(火) 役員部局長会議 (13:00～ 学長室)  
評価委員会 (役員部局長会議終了後 学長室)  
動物実験委員会 (16:00～ 第二会議室)

## トピックス

### 書道専攻・書友会卒展(2/15-20)



国語・書道専攻8期生と書のサークル「書友会」の卒業制作展が2月15日(火)～20日(日)、名古屋市瑞穂区の名古屋市博物館で開催された。

会場には書道専攻の風岡正明教授、木村博昭教授、衣川彰人准教授の3ゼミの4年生計17人の27作品を中

心に、在学学生 14 人、書友会 4 人、卒業生 16 人らの約 80 点の書道作品を展示。軸装をはじめ、卷子（かんす）、額、半紙を台紙に張ったコラージュ風など多彩なスタイルの作品で、訪れた人の目を楽しませた。

卒業制作作品は、昨年夏ごろに各自が中国や日本の古典から題材を選び、9 月の合宿から練習を始め、1 月末までに半年間かけて完成させた。幅約 3m、縦 2m40 cm の軸装など大作が多く、それぞれ楷書や草書、隸書、行書で、静かさの中にもエネルギーを感じさせる力作ぞろい。

大作に挑んだ一人、4 年生の水川友梨香さんは「100 枚ぐらい書きました。大きいので全体のバランスを見て、一貫性があるように心掛けました。やり遂げた感があります」と自作を前に笑顔で語った。指導教官の木村教授は「今年は多くの学生が大作に挑戦して、よく頑張ったと思う。一生のうちでもこれだけの作品を手掛ける機会は少ないですから、大学ならではの貴重な体験です。それぞれが個性に注目していただきたいですね」と目を細めていた。



### 卒展(2/15-20)

美術選修・専攻、造形文化コース、大学院芸術教育専攻の学生による卒業・修了作品展が 2 月 15 日（火）～20 日（日）、名古屋市東区の名古屋市民ギャラリー矢田で行われた。

昨年までは教員養成課程と現代学芸課程という所属の違いから個別に開かれていた美術選修・専攻と造形文化コースが今年初めて合同で開催。卒業・修了を控えた美術選修・専攻の絵画、版画、デザイン、工芸、彫刻、美術教育、美術史の各研究室、造形文化コースの陶芸、ガラス、金工、染織、美術史の各専攻、修士課程芸術教育専攻の計 63 人の 120 作品を一堂に展示した。



カラフルな絵画、モノクロームのエッチング、木の色や手触りを生かした玩具、土で表現の可能性を追求した陶芸、社会を風刺したオブジェ、長さ 20m に及ぶ染め織、美術や工作の授業研究、本学の履修の手引きなどのデザインを、作品や研究発表のパネルセッションで紹介。



木工でチョコレートやビスケットのモチーフを雑貨にした近藤安由美さんは「3 年生でテーマを決めて、制作を始めました。論文も書きながらだったので大変でしたが、4 年間の成果を出すことができたので、概ね満足です」と作品を手に晴れ晴れとした表情で話した。





会場には学生やその家族、教職員、一般の見学者も多数訪れ、フレッシュな感性あふれる学生たちの作品を鑑賞した。

### 情報セキュリティセミナー(2/18)



教職員、学生を対象に情報通信の現状や課題への対応策を学ぶ「情報セキュリティセミナー」が2月18日(金)、第五会議室で開催され、約50人が参加した。

トレンドマイクロ社の西日本公共営業課シニアスペシャリスト、中原康雄氏が「インターネットに潜む脅威と対策」をテーマに講演した。中原氏はコンピュータウイルスを中心とする脅威、フィッシング詐欺、クリック詐欺などネット犯罪の手口、対策などを豊富

な事例を紹介しながらわかりやすく説明。「ウイルス犯罪は2003年ごろまでは自己顕示欲を示す個人の愉快犯だったが、現在は犯罪組織による金銭・情報目的になっている」「感染は9割がWebからで、USBは1割程度」「息子さんが使い、感染していたのを知らずに校長先生が自宅のパソコンで作業、個人情報などがネットに流れたケースがある」などと話した。対策としてウイルスに感染したらLANケーブルを抜いてネットワークから隔離することや、システムを変え、パスワードを定期的に変更するなど意識を変えることが重要と指摘した。講演の後の質疑では「ウイルスの脅威を抜本的に減らす方法はないか」「感染を知る方法は」などの質問が出され、中原氏は「脅威も日進月歩。リアルタイムでの対応が重要。感染に気づかない場合も多いが、週に1回はハードスキャンをしてウイルスを検知することです」などと答えた。最後に三宅育夫情報図書課長があいさつしてセミナーを終えた。



### 小中英語支援室講演会(2/20)

小中学校の外国語活動を支援するために設けられた本学の小中英語支援室主催の講演会が2月20日(日)、名古屋市南区の日本ガイシフォーラムで行われた。今年度より文部科学省特別経費事業としてスタートし、講演会・研修会は3度目となった。新学習指導要領の導入が目前に迫る中、英語教育の専門家の豊富な実践例を紹介してもらうことで、これからの英語教育について考える機会を提供し、また教員同士のつながり、教育委員会と教員のつながりの場としてもらうのが目的。現職教員を中心に、教育委員会・教育出版会、学生などを合わせて約120人が参加した。

2部で構成され、第1部では関西外国語大学の中嶋洋一氏が講演、第2部では愛知県内の3市の教育委員会(東海市、名古屋市、岡崎市)の指導主事を招いたシンポジウムが行われた。中嶋氏は、教師歴28年で富山県中学校教頭を経て、現在、関西外国語大学国際言語学部教授。教育現場の実情を踏まえ、英語教育の専門家としての立場から「外国語活動から中学英語にどうリンクさせるか」というテーマに沿って語った。参加者同士がペアで音読やディスカッションをするなど参加



型の講演でもあり、教員が何気なく行ってしまう授業スタイルなどを例に、教員の意識が学習者にどのように影響するかを話した。外国語活動や英語の授業の活動例が具体的で、参加者が授業に実際に使えるような内容に富んでいた。

第2部では、各市の教育委員会指導主事が「新学習指導要領に向

けた我が市の取り組み」というテーマで発表した。各市とも教員研修を工夫しており、研修制度の体制が整っていることを示した。マイクロティーチングやチームティーチングの研修、市独自のDVD教材作成など、自治体独自のアイデアを生かし、小学校外国語活動に取り組んでいる様子が見え、他の自治体の参考となった点も多かったようだ。

2011 年度より始まる小学校外国語活動において、英語教育の専門家と教育委員会の指導主事らが語った内容は、現場教員ら参加者に「これからの英語教育」について多くの示唆を与える講演会となった。  
(寄稿：小中英語支援室 小川知恵)

### 鷹巣准教授がテレビ出演(2/21)

地獄絵研究者として知られる鷹巣純准教授（美術教育）が、CBC テレビ制作のバラエティー番組「お宝発信アワー DAI-NAMO（ダイナモ）」に出演することになり、2月21日（月）、学内で撮影が行われた。

出演するのは同番組の人気コーナー「DAIGO の輝人ハント!」。進行役のタレント、DAIGO さんが、東海地方の“お宝人物”を訪ねて、その魅力に迫るコーナー。今回は本学で美術史を教える鷹巣准教授の研究分野の一つ「地獄絵」について話を聞くという企画という。同日午後から美術実習棟の通路や階段には演出のための照明、鷹巣研究室入り口には地獄への入り口“三途（さんず）の川”を思わせるブルーのストライプのシートや川に架かる橋などのセットが施され、準備は完了。陽が落ちて暗くなった午後6時過ぎに撮影がスタート。DAIGO さんは「何ですか〜ここは〜？ 暗いんですけど〜」と怯えながら、“三途の川”を渡って、研究室に到着した。



鷹巣准教授は、地獄絵の歴史や、地獄絵の楽しみ方を講釈したり、最新研究の「浄土すごろく」を紹介。地獄の奥深さに「まじっすか〜」を連発していた DAIGO さんだったが、浄土すごろくを体験して意気投合。「地獄は怖いところでなくて、極楽への通り道なんですね」と締めくくって撮影は2時間ほどで無事終了した。

この日の収録の様子は、3月9日（水）午後7時からの番組内で放送の予定。

### 樋口教授が個展開催(2/24-3/6)

美術教育の樋口一成教授の個展「gravimorph（グラヴィモルフ）重力によって動く造形」が2月24日（木）から、名古屋市中村区の「ギャラリー溜な」で始まった。3月6日（日）まで。

「gravimorph」は、重力を意味する gravi と、形態を意味する morph を合わせた造語で、会場では重力によって転がったり落ちたりする動きを楽しむオリジナルの木製玩具約20種類を紹介している。



今回の作品は、加工しやすく安価なナラ材を使用。傾斜をつけた台の上を、球や円錐などのパーツが滑り落ちていく様子は、時にリズムカルにウェーブを描いてみたり、まるでダンスを踊るように反転を繰り返したりと、意外な動きを見せる。木の手触りや香り、時にはコトコトと優しい音を立てて転がるのも魅力的。24日には、松田正久学長が会場を訪れ、作品を手に取り「予想外の動きをするから面白い。理系の学生たちも説明できないかも。ストレス解消にいい」と、玩具の動きに興味深げだった。





樋口教授にとっては約 10 年ぶり、7 回目の個展。展示作品はこの半年間に自宅工房で制作した。「組み合わせで物を作る過程で、偶然見つけた動きを表現しました。授業的にも子どもたちが遊びの中で作品を作ることは大切。ここでは、大人も子どもも遊んで驚いて、ニコリしてもらえたら嬉しいですね」と笑顔で語った。

問い合わせは、ギャラリー瑠な TEL052 (471) 7284 へ。火曜日休み、11:00 - 18:00 (最終日は 17:00 まで)。



### 前期日程試験(2/25,26)

前期日程試験が本学でも 2 月 25 日(金)午前、始まった。松田正久学長は試験本部のある第一会議室で試験監督者の教員ら約 80 人を前にあいさつ。「今回は前年に比べて約 500 人志願者が増えた。経済状況も大きいと思われるが、試験を監督する先生は、合格したら是非入学してもらえよう受験生に優しい気遣いをお願いしたい。明日も試験がありますのでよろしく」とユーモアを交えて激励した。

この後、稲垣敏之入試課長が試験の注意事項などを述べ、教員は問題などを持って各試験室に移動、午前 9 時半から一斉に試験が始まった。26 日(土)も音楽、美術、体育の実技試験が行われた。

また、両日とも全学新生歓迎委員会が生協前にテントを設置し、筆記用具や時計を忘れた受験生へ貸し出したり、温かい飲み物を配布するなどして、エールを送った。

今年の前期日程試験の志願者は 1713 人で、うち実際に受験したのは 1628 人。欠席率は 5.1%。受験者の増加でスペースが手狭になった会場はあったものの、概ね順調に進行し、前期日程試験は無事終了した。



### お知らせ・報告・投稿

#### リポジトリ正式公開2周年記念で前田教授にインタビュー(報告)

愛知教育大学の研究・教育成果をインターネット上で公開する「愛知教育大学学術情報リポジトリ」は、1 月 5 日(水)に正式公開 2 周年を迎えた。附属図書館ではこれを記念して、昨年、第 32 回角川源義(かどかわ・げんよし)賞を受賞された社会科教育講座の前田勉教授にインタビューを行った。

インタビューでは、前田教授が研究のきっかけとなった大学時代のエピソードを披露し、自身の研究テーマである、江戸から明治にかけての日本思想史における三つの「ストーリー」を分かりやすく解説した。さらに、1 枚の地図を通して見た国学者・本居宣長の人物像とその思想が後の人々や現代の常識に与えているインパクトを説明している。歴史や思想史に興味のある方にはもちろんのこと、これまで興味の無かった方にも、思想史研究の面白さが分かる、興味深い内容となっているので、是非、多くの方々に読んでいただきたい。

インタビュー内容はリポジトリトップページよりリンクして、次の URL で一般に公開している。  
正式公開 2 周年記念インタビュー

<http://repository.aichi-edu.ac.jp/interview/4th/2ndAnniversary.html>

(寄稿：情報図書課 古田紀子)



## 定期演奏会など開催案内

- ◆愛知教育大学混声合唱団 第41回定期演奏会  
3月5日(土) 開場 16:45、開演 17:30 入場料 500円  
会場：名古屋市中川文化小劇場  
演目：「この星の上で」「カウボーイ・ポップ」ほか  
問い合わせ：森長さん TEL080-3285-8823  
<http://aikyoukon.alljapan.com/>
- ◆愛知教育大学管弦楽団 第74回定期演奏会  
3月5日(土) 開場 17:45、開演 18:30 入場料 800円(前売り 700円)  
会場：愛知県芸術劇場コンサートホール  
演目：シベリウス「交響曲第2番ニ長調 op.43」ほか  
問い合わせ：石田さん TEL090-3441-3981  
<http://ameblo.jp/aeu-orchestra/>
- ◆愛知教育大学天文台 第61回一般公開  
3月5日(土) 18:00~20:30 入場無料、予約不要  
天文ミニ講座(18:00~)、観望会(19:00~) \*雨天の場合は講座のみ  
問い合わせ：天文学研究室 TEL0566-26-2624  
<http://tenmon.phyas.aichi-edu.ac.jp/>
- ◆第1回愛知教育大学 教育創造開発機構 教育臨床センター 公開シンポジウム  
「現代の子どもや若者の課題とその支援—学校、家庭、社会を射程として—」  
3月12日(土) 13:15~16:50 参加無料、定員 150人  
会場：名古屋国際会議場 1号館 133・134 会議室  
問い合わせ：心理教育相談室 TEL0566-26-2712
- ◆愛知教育大学吹奏楽団 第54回定期演奏会  
3月12日(土) 開場 17:00、開演 17:30 入場料 400円(前売り 300円)  
会場：安城市民会館サルビアホール  
問い合わせ：樋口さん TEL090-6098-2054
- ◆第4回理科実験プレ教員セミナー  
3月14日(月)、15日(火)  
場所：自然科学棟生物系理科実験・実習室ほか  
内容：生物、物理、化学、地学の実験・観察  
問い合わせ：岩山勉教授 E-mail:tiwayama@aeu.ac.jp

## 編集後記

2月後半は卒業展を“はしご”取材。書道を皮切りに、陶芸、彫刻、ガラス、工芸、彫金、デザイン…、卒業・修了作品展とあって、学生ながらも、なかなかの力作ぞろいで、楽しませてもらいました。中でも書道の大作に挑む学生さんたちの話は印象的で、墨や筆という至ってシンプルな道具で真っ白な紙に向き合って格闘する姿を思い描くと、何だかワクワクしてきました。“書道ガール”が話題ですが、エネルギー溢る書道の創作を本学でも、いつかライブで見てみたいものです。(K)

## 投稿のお願い

学内外の出来事(教育・研究・地域連携・国際交流・学内事業など)に関するニュースの提供をお待ちしております。

メール:[kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:kouhou@m.auecc.aichi-edu.ac.jp) 編集責任者:総務担当理事 折出 健二